

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道354号 <small>いわいみつかいどう</small> 岩井水海道バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	<small>いばらきけん</small> 茨城県
起終点	自： <small>いわい</small> 茨城県岩井市幸田 至： <small>みつかいどう</small> 茨城県水海道市豊岡町	延長	6.3 km		
事業概要	<p>一般国道354号は、群馬県高崎市を起点として茨城県鹿島郡大洋村に至る延長約209 kmの主要幹線道路である。</p> <p>岩井水海道バイパスは、岩井市街地から水海道市街地に至る慢性的な交通混雑の解消を目的とした延長約6.3 kmの4車線道路である。</p>				
H6年度事業化	H3年度都市計画決定 (H6年度変更)	H6年度用地着手	H7年度工事着手		
全体事業費	約81.3億円	事業進捗率	87%	供用済延長	3.3 km
計画交通量	18,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成15年	
	(残事業)	16/44億円 (事業費：10/38億円 維持管理費：6/6億円)	225/225億円 (走行時間短縮便益：145/145億円 走行費用減少便益：80/80億円 交通事故減少便益：0/0億円)		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援（農林水産品（ネギ、レタス等）の流通の利便性向上が見込まれる） 防災への備え（第1次緊急輸送道路としての機能が確保される） <p style="text-align: right;">他3項目に該当（定量的評価項目を含む）</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>本路線は地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、土浦市をはじめとする関係5市5町2村の首長で構成される国道354号整備促進協議会より整備促進の要望（平成15年10月27日）を受けている。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>水海道市街地の交通混雑を緩和するため、有料道路事業（H6～H9）を導入し整備を進めてきた。本路線の開通により、岩井幸田工業団地への企業立地の促進が見込まれる。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地補償は完了しており、現在までに約3.3 kmを部分供用している。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>平成14年までに用地買収を終了し、全線にわたり工事を進めており、平成16年度に全線供用予定である。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>二次製品の大型化や再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。</p>				
対応方針	<p>対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>				
事業概要図	<p>事業概要図は、茨城県岩井市幸田から水海道市豊岡町までのルートを示しています。既存の国道354号（黒線）と、新たに建設される岩井水海道バイパス（斜線）が示されています。また、土浦海井線、水海道有料道路、水海道市役所、豊岡町、岩井幸田工業団地などの地名や施設も記載されています。凡例には、供用中（黒線）、事業中（点線）、再評価箇所（斜線）、うち供用中（斜線）が示されています。</p>				

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。